

クシーがないため利用できない。この助成事業を社会福祉協議会の「ふれあい蒲郡送迎サービス」に利用拡大することは出来ないか。

答 社会福祉協議会等と協議し、前向きに検討したいと考えている。

鈴木八重久（市政クラブ）

十六年度予算編成について

問 平成十六年度予算編成における市長の基本施策について伺う。

答 厳しい財政状況の中、可能な限りの財源確保に努め、めり張りのある予算編成を行いたい。現段階での重点施策は次の通り。

防災関連では、保育園舎や小中学校舎の耐震補強工事、ハザードマップの全世帯配布や備蓄品の充実など。福祉関連では、中部中学校区への児童館建設、乳幼児医療費補助の拡大、保育園受入れ体制の充実など。

都市基盤整備としては、鉄道高架、国道23号、247号中央バイパスの建設促進、各地区の区画整理、下水道事業の推進など。また、市制施行五十周年事業として「音楽のまち蒲郡」をメインテーマにイベントなどを展開していく。

松本昌成（公明党）

教育ビジョン策定と乳幼児医療費無料化拡大

問 「学校教育ビジョン」は、市民の意見をもとに学校、行政、家庭、地域社会の取り組みむべき方向性を示すものであり、策定する自治体が増えている。蒲郡市も市民参加型で長期的展望に立った教育ビジョンを策定してはどうか。

答 市民の提案を踏まえた長期的展望に立った学校教育ビジョン（教育指針）の策定を前向きに検討する。

問 市税前納報奨金廃止により生じた予算を、乳幼児医療費無料化の対象年齢拡大のために使ってはどうか。

答 現在は四歳未満児までの入院費と六歳未満児までの入院費を全額助成

している。財源の見通しが立てば平成十六年度の早い時期に六歳未満児までの入院費も助成したい。



齊藤泰一（市政クラブ）

中央バイパスと豊岡大塚線について

問 国道247号中央バイパスと豊岡大塚線の今後の見通しについて伺う。

答 中央バイパスであるが、第二工区（市民病院の東から豊岡三谷港線までの未供用区間約一・二キロ）の供用開始は、三谷町井戸交差点の改良や信号機の設置も含めて平成十六年度六

月中旬を予定している。バイパス本線に取り付く市道や枝線も、本線の供用開始までに完成させる予定である。電線類の地中化計画は考えていない。

豊岡大塚線は三千四百円、総事業費約五十三億円の予定である。現在までの事業の進捗状況は、事業費ベースで約二四％である。二カ所のトンネルの着手時期も含め慎重に検討しているが、少しでも早く全線開通できるように努力したい。

竹内政幸（市政クラブ）

祭りの文化財指定を

問 三谷祭以外の各地域の伝統芸能も市の文化財



に指定してはどうか。また、三谷祭は市無形文化財に指定されているが、海中渡御はその対象になっていない。三谷祭を県指定の無形文化財にするためにも、「海中渡御」を市の文化財に指定してもらいたい。どうか。

答 各地域の伝統芸能は、資料的価値、保存に対する緊急性を勘案し、必要なものは文化財指定も視野に入れていく。

海中渡御を文化財にとの議論は、文化財審議会で何度か行われてきたが、意見がまとまっていない。教育委員会としては、文化財審議会の意見を聞きながら、「海中渡御が定着したかどうか」をどの時点で判断するかと考えている。